

輪何實不真專利一日通商而本輪利歸烏有成事可鑒即如他國之輪准入長江內河通商行駛豈地球萬國商例之所有哉故此事能從容詳酌最為妥善倘人士持其堅意謂此中利益甚大不欲中止則商有二變通辦法日下所備小輪令與官輪區別專為渡湖便民起見北不過岳州南不過湘陰如此則既順輿情而後族亦不至援請開埠設或彼族仍有通商之請則議章允准必無數月之久彼時一有萌芽即將中國小輪北駛出大江南駛至長江圖占先着尙不至過落人後相時而動不為禍先則操縱在手較為穩妥且彼時不但准准輪出口即彼處亦必令鄂商多備小輪一體互駛湘鄂且上及荆州宜昌并為厚其力以救外人之計矣洞不日素持輪船鐵路最為利國利民之說是以於蘇鎮淮揚江甯江西皆創議士陳以開風氣豈獨不願湘中商民之富豈獨不願湘鄂往來行旅之利涉至輪船拖帶有妨民船生意之說最為謬論平日每極力關之故聞比年以來湘中士大夫講求洋務考究機器專立書院研究西法輒為神往而飛頂祝勳贊以速其成鄙人意指固亦可見特以事有牽致湘中應防之患在他省之外者訪患害為急則與利尚在所緩耳總之此事以緩辦為第一義不可則以專渡洞庭為第二義惟湘輪如行人鄂境直達漢口其間於鄂省民情商情豈無礙亦須商酌鄂省中水會同酌定再行奏咨較為周布執事關懷時局惠愛湘民河雖不才忝附同舟亦同此願盡懷籌慮至精至遠不知以鄙見為有千一之得否事關大局利害不祇詳求特此奉商并請以此書達湘中諸君子務望切切見教以啓迂愚不勝翹禱并請將湘中公稟台端批覆迅賜抄示如已奏咨并望錄稿見示為幸專此飛函奉布祇請助安不盡

遣臣廷賀 ○十六日西報述十五日英京務打電音稱廷派定欽差大臣名拉那巴沙前往英京慶賀英皇登極六十年盛典所以篤邦交也
美廷政電 ○十七日日本埠西報述十六日英京務打電音稱美廷所議抽餉之事業已停妥又該國總統麥根禮欲招議院各大臣齊集參議將夏威島地方為美國屬國

俄事兩則 ○俄築東方鐵路之事當時不過草創而已其藉機器以成功者限至今年西歷八月內與工故定約之後機器師尙未派也茲據俄京消息云云俄廷業經派定魯鄂密止前赴東方辦理鐵路事務而魯某奏請俄廷准其順遊英美及中國京都朝見皇上然後再往鐵路處所應期興工○俄京消息又云東方鐵路屬中國界者中國已將附近路旁之地丈量清楚劃歸俄國管轄現俄廷令國內百姓移駐路旁隙地墾闢耕作及開張舖戶噫俄既打通鐵路之利復得曠地駐民誠一舉而收兩利也

日人大言 ○日本經營海軍不遺餘力前向英京定製各艦將陸續竣工而日本將弁之寄居英地者手舞足蹈得意洋洋常作大言誇耀於眾茲據英京消息云月前英京某西報主人散步至濱海地方適值日本水手頭某甲在該處遊行主人與之談叙甲云我國將來製成戰艦之數比現在英德法俄美等國駐泊紅海之戰艦定能加多然此亦不過數年後之事耳我國又定造新式一號戰艦六艘其馬力較數比現在各國戰艦增至加倍即船身亦異常堅固若即我國現在船數而論只應三十艘尙有數艘不堪用者勢必不敷調遣譬如德國俄國欲調四十艘戰艦出敵咄嗟可辦我國不能故目前有侮我者我亦容忍受之將來則不如是也或曰我國與英國聯絡實其助我出首與他國爭勝此豈我國當事者之心哉蓋我國與英國聯絡意在同心協力維持商務若輩恐利權為我兩國所奪常欲乘間施計使生携貳如前者中國割地與俄法出首為中國索還原地其實非愛中國也直欲藉端離間我兩國耳而孰知英國不為其所激耶至於德國前與我國交誼極篤獨甲午之役德惟袖手旁觀由今思之尙不解其命意之所在也

電力吸人 ○電力吸人雖不至死而被吸之際筋節搖動伸縮不能自由亦最吃力之事茲據西報載稱暹羅曼谷市面夜間備燃電燈西曆五月廿五號之夕某屋失慎致火焚如時有華人三名登城上之塔眺望火勢不料三人髮弁釋入通電鐵管若輩皆伸一手挽住電管欲以一手解其髮弁詎電力極大不惟不能以隻手解髮弁且兩手皆為電力吸住而不能放幸被途人撞見趕為斷弁并設法救下護送若輩回家等語向令若輩不達途人為之設法不知如何收斂噫髮弁之累人誠不淺也

完璋返巫 ○巫來油籍人某甲充本埠巡差頭之役住日落洞地方聞於本月十三日幼子兩歲在門口遊玩轉瞬之間不知去向某甲偕婦四處尋覓不見踪影越半點鐘突有巡差某乙送還其子某甲夫婦喜悅感激自不待言隨詢頭末據某乙云予巡至淡汶港地方撞見該處居人羣圍一車阻其前進該車放單垂簾中坐華人某丙并巫籍幼童一名該童猶有哭聲予問居人所以阻車之故僉曰不知該車來從何處但幼童哭聲異常慘切聞者疑訝欲探原委故阻其行乃事未窮源而君過此其覺湊巧請為細詢予令車夫揭簾開單詳詢某丙聆其對答語其支吾又見該童脚手均飾金環愈知其車定有曲直隨叩該童作揖其父母姓字童述爾名予始知其為爾子也一面傳車送還爾子一面傳爾等帶同爾等回寓爾等當即叩謝云

閱報聲明 ○啓者本館新聞紙貨價自丙申年六月十一日起陸續升外埠全年者銀十元六個月銀六元閱附張者全年銀五元六個月銀三元外埠全年並費十二元零沽每張五占至於本館白者第一日每字一占第二日每字半占字多及長刊者另議再本館所登來札原擇其有關世道人心者否亦須無碍於人並寫真爾里而後始錄諸君來札當為見諒至來稿登與不登均不能將原稿收回此佈 本館主人白

大清光緒廿三年
丁酉五月十九日

THE "PENANG SIN POE" 號五零百四第 CHINESE DAILY NEWS.

檳城新報

英一千八百九十
七年六月十八號

印五拜禮牌門號二十三第百二號十三百二第街中在設開館本

Printed and Published by Lim Seok Hoi at the "Criterion Press," Nos. 230 & 232, Beach Street, Penang.

閱報聲明 ○啓者本館新聞紙貨價自丙申年六月十一日起陸續升外埠全年者銀十元六個月銀六元閱附張者全年銀五元六個月銀三元外埠全年並費十二元零沽每張五占至於本館白者第一日每字一占第二日每字半占字多及長刊者另議再本館所登來札原擇其有關世道人心者否亦須無碍於人並寫真爾里而後始錄諸君來札當為見諒至來稿登與不登均不能將原稿收回此佈 本館主人白

目錄

- 譯英報論俄日事 英美定約 夏威島電
- 不便往慶 暹王遊程 寄存外府
- 摘譯憲示 議作頌文 慶典餘談
- 柏臺折獄 太守折獄 時疫流行
- 礦學新法 童軍操演 續奇案探險譯文
- 快電申謝 印慶慶典
- 上油渣代煤 雷劫難逃
- 建物誌慶 德並二天
- 銀行開辦 劃界要言
- 各行告白 各貨行情

英國每禮拜六刊印之報著有一論專言日本增兵之事茲特譯其意曰從前中日未交兵之前日廷豫算每年國用不及銀貨二百兆聞目下計臣以清賑送交議院開列本年國用至三百餘兆聞之多其中一百五十兆左右為增兵之費往歲議院中議及國用諸議員必逐一細加詳察獨今歲則不然雖所算用款若此之鉅而諸議員唯唯諾諾若無辯駁之詞祇士議院各貴紳請將各部冗員稍加淘汰下議院中人則事事遵從人問日本現值承平何必驟增兵額我曾深思而知其故矣第一遼東一役日國朝野上下尙未忘情深怪俄人為 中朝仗義執言索回已割之地必暗中布置以冀日後仍將其地占之第二俄人在東部經營之事日人洞底底窺較勝英人并知俄人務欲於太平洋之北雄視一時其由黑龍江漸漸進步直趨滿洲及高麗者蓋默侯中國將來氣機不振必遂其鯨吞虎噬之謀當此之時舉凡與俄為鄰者皆不能高枕而臥今者俄會雖尙未至而俄人已先注意於高麗以阻日人之權使不得推行於內都之外即太平洋之北日人亦不能執牛耳盟在袖手旁觀者每謂日人無術察俄人喜此猶盲人閉目妄言不知咫尺間事鄙意日本如欲禦歐洲之國事實良難今在東方禦俄人誠不知鹿死誰手蓋兩國之勢力不甚懸殊也倘俄日竟出於戰爭其開仗必在海面目下黑龍江鐵路尙未告成俄人所有在陸軍士不能多調至東洋即鐵路已成轉運甚速而越國鄙遠亦多棘手堪虞且日本臣民罔不願效死報國俄人如用兵於日本務須多調精兵今者兩國倘有兵事俄人不能藉鐵路之利勢必多用兵船雖俄之兵船較多於日且皆堅利無匹可以在海上橫行然亦萬不能悉數調出若全赴太平洋之北則國內空乏豈不有開門揖盜之憂乎况目下除暹羅春一路外俄人於東方別無可以駐足之區即暹羅春亦未設大船塢及泊船之澳管理水師事務之局每年四閱月冰凌不化兵船不能行駛自如日本則通國中有數處利於行船且有船塢可以興修有公司可以支應交戰之後兵船損壞修之自易於為功觀此情形是日人實占俄人之上俄人既無此便利必思以一戰決雌雄日人則必俟冬令暉春凍合時乘機舉事然無獨力以併俄人之理必查得俄船之所在逐漸損壞俟俄船次第凋零殆盡然後致力於高麗將高麗各處嚴密分投扼守迨俄人將陸兵調至而相隔已數月之久銳氣全消矣僕以為以一百三十三兆人之國而欲與四十二兆人之國爭為雄長事亦無足為異緣一百三十三兆人散居各地不及四十二兆人合居一島呼應較靈馴前



本號採辦祖家各項藥料出兌並製
 上好咳嗽藥水 風濕藥水
 上好生癩藥水 肚痛藥水
 上好生癩藥粉 爛脚藥膏
 上好生癩藥膏 疔積藥餅
 上好生癩藥膏 疔積藥餅
 流白濁藥水 風疔藥水
 發冷藥水 等件均經靈驗
 異常更有映相靈藥治癒藥燈紙以
 及製造清涼水器具並製各水之藥
 水均係上品貨物價亦廉宜如各商
 坵有購買大宗者所取價值較之零
 沽價格外從廉以示公平此佈
 英一千八百九十六年五月廿六號
 兀禮顯公司大藥房謹啓

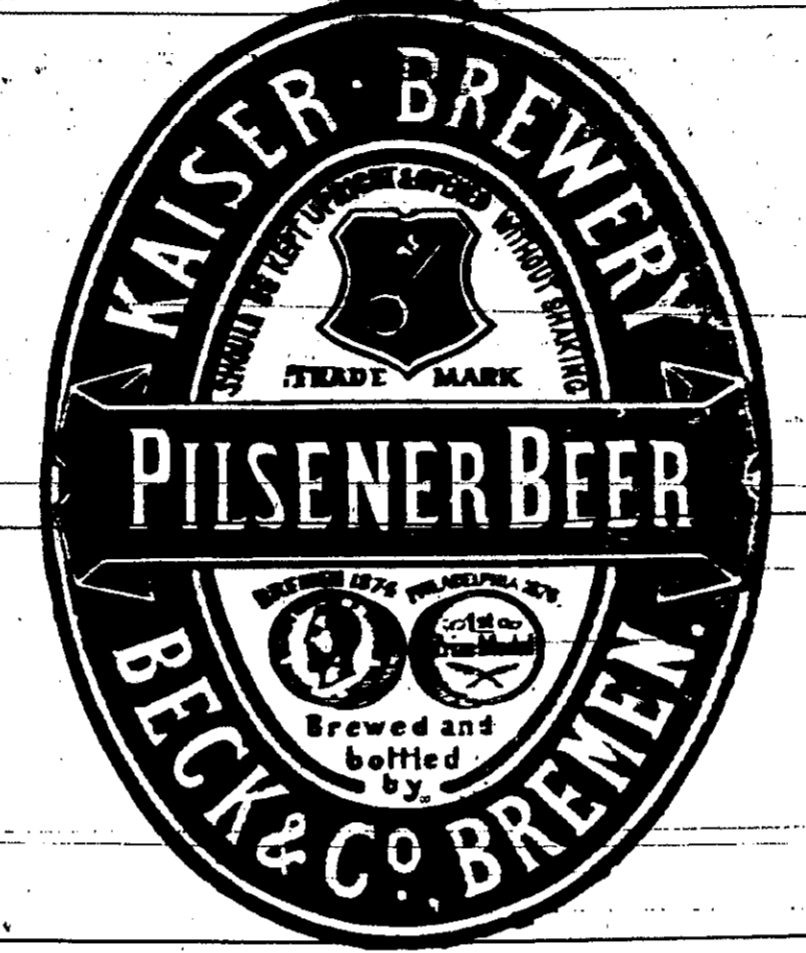
茲將本銀行生理事宜開列如左 本銀行
 計集老本銀一百萬磅 各股份已經交出
 者計五十萬磅 本銀行總寫字樓設在香
 港 茲將諸協理人之芳名開列如左
 華 兒利士 實多打頓 陳傑臣 周東生
 一 關禮川 總司理人 不里花 所有寄存本
 銀行之項其以十二個月為期者以四八仙半
 利息算
 大英一千八百九十六年十二月十五號
 代理人先得啲峇得里洋行謹啓
 本銀行之股份多係中國商所附惟願
 諸君惠然賜顧今本行辦法與各
 銀行相同可以買賣諸商票等件往以
 下所列各地方茲將其地開列如左
 網略 香港 廈門 上海 橫濱

威靈日縫衣針車其運用輕捷製造
 美倫久已遠近馳名本埠發兌由敝
 號代理亦有年所有價值詳列于後
 靈 手轉針車每架二十六元帶蓋三
 士元 脚踏針車每架四十七元
 日 頂上家用手轉針車每架三十三元
 帶蓋三十八元 脚踏針車每架五
 針 十五元 本號另有雙輪脚踏快車
 每輛一百七十五元 輕捷大異尋
 車常有倫敦各款雜貨以及金銀器
 物各式綢緞大小金皮牛皮羊皮鞋
 發兌 諸君賜顧者請到土庫街十
 五號門牌本號內採選價廉宜特
 此佈 聞 光緒丙申四月初七日
 代理人不里捷公司謹白

狗頭標蜜酒 鎖匙標蜜酒 出兌



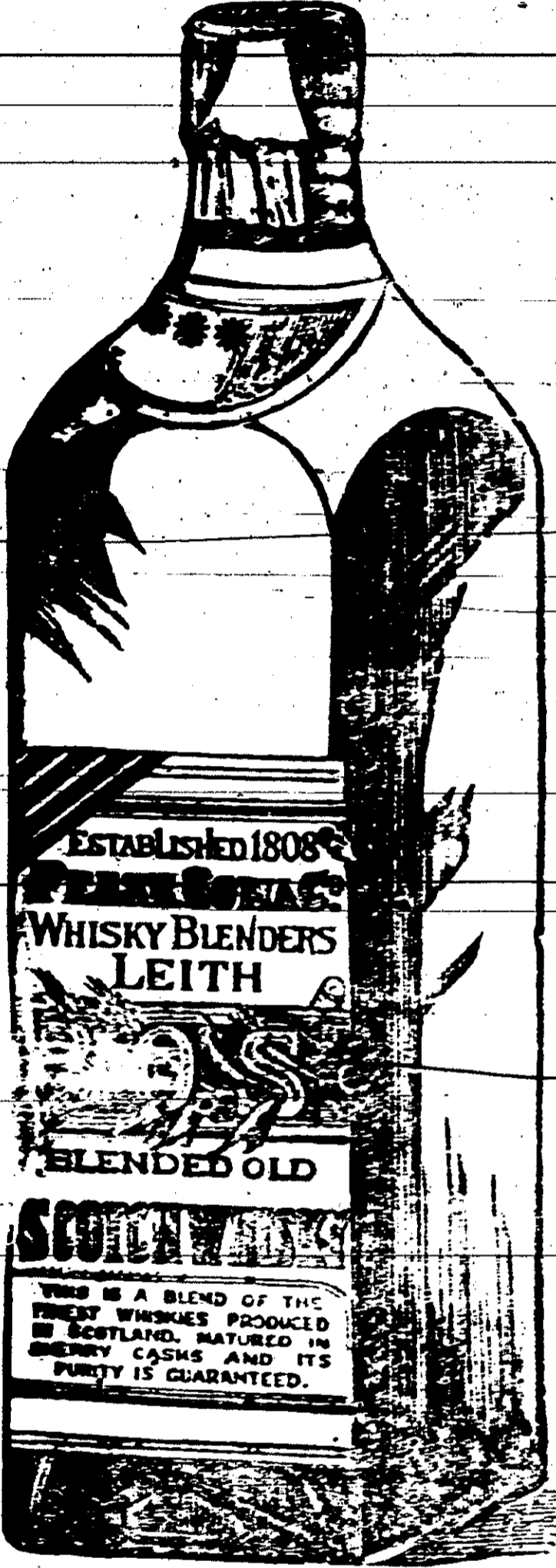
啓者本號由歐洲自辦上等狗頭
 標鳥白蜜酒來出沽其酒氣味
 清香且能補血氣壯筋骨茲將標
 印出倘蒙 諸君賜顧請細
 認此標為記庶不致誤謹此佈聞
 大清光緒乙未年六月十八日
 轄典目兄弟公司白



啓者本公司自英一
 千八百七十九年由
 歐洲辦到上等蜜酒
 來發售其酒其佳
 今將標頭印出 諸
 君光顧者祈為細認
 標頭為記免致有誤
 特此佈 聞
 大英一千八百九十
 五年八月八號
 未六月十八日
 代理人高榮號白

本號代理香港安泰保險有限
 公司專保洋面來往火船貨物
 遇有不測賠償安速辦理多年
 久為 諸商翁所信重倘蒙惠
 顧請到土庫街四十八號門牌
 此佈 乙未年六月十八日
 代理人高榮號白

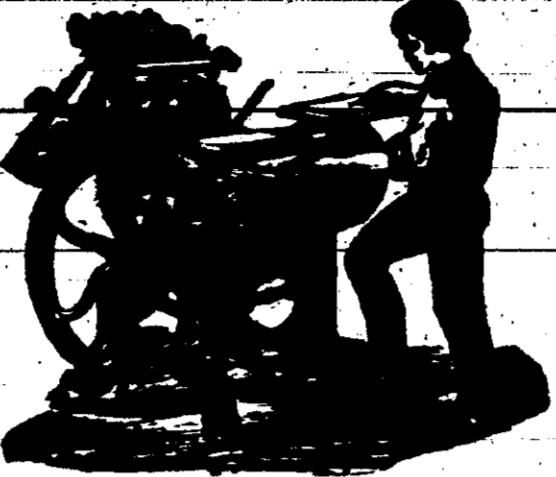
委實杞酒



啓者本行代理探辦
 歐洲各款雜物異常
 巧妙久已馳名茲又
 精探慶士一星三
 點星之委實杞酒其
 酒能固腎健脾助氣
 補血解毒消積祛暑
 時寒倫蒙 諸君賜
 顧請認標頭為記價
 甚廉宜特此佈 聞
 乙未年六月十八日
 轄典目兄弟公司白

石齋告白

本齋承印英
 華文字已十
 有餘年馳名
 各埠蒙諸商
 翁惠顧源源
 而來是以精
 益求精故不
 惜工本從英
 國採辦印字
 裁紙各機器並有英國各款字體及各式
 花邊鳥獸等件延中外名工技藝超絕者
 排印一切大小文字以候與 諸商翁刊
 印書籍紙牌單件並有印便大小報關字
 兌酒巴示各款朱律花邊標頭出兌書法
 精良款式雅緻價較別格外廉宜更有新
 到各款信紙信箋筆墨水紙路發兌外埠
 如有 賜顧者可函達本齋自能照辦印
 寄不悞此佈
 光緒丁酉年正月吉日 檳城點石齋白



本公司所售標頭
 綴妙既標燃之如意復潮濕之無
 虞誠與標標相印已蒙 諸
 君試用各國流行即本埠社尾
 萬 君試問各屬流行即本埠社尾
 發 標頭為記庶不致誤此佈
 大清光緒丙申年四月初七日
 大英一千八百九十六年五月
 十九號 轄典目兄弟公司白



新到
 狗標
 頂上
 洗淨
 污穢
 消除
 疫氣
 藥水



啓者本號有代理英東里公司製造
 頂上狗標洗淨污穢消除疫氣藥水會
 經上等醫生表此君君認此藥水
 製造得法大有裨益於人凡住屋廁
 大小水清廁所以及馬房雞鴨狗寮
 與夫有污穢之所若將此藥水洒灑可
 以立除其氣即遇有瘟疫時以此藥
 水灑掃可免傳染之患久經試驗應效
 不差且復價廉誠為便用 諸君賜顧
 者祈移玉到義興街門牌二十八號內
 採買便此佈
 光緒丁酉年元月十五日 吳德志啓

啓者本號自前督染頂上烏布每碼數寸餘年貨真價實遠近馳名因有無恥
 之輩以假亂真曾請 英皇頒派票中有大虎一隻松栢一株兩傍各伴小虎
 六隻今再添設五鳳朝牡丹一標俾遐邇咸知倘有假冒標號定必控官究治
 如蒙 諸商翁要購辦者請認標頭為記庶免錯誤倘在銀羅申街門牌第二
 百九十號此佈 聞
 光緒丙申年九月初一日
 代理人高榮號謹啓

電報部發賣

啓者本齋有刊印華
 英電報冊兩款字畫
 分明句讀簡捷誠為
 生理場中便用况又
 取價甚宜 諸商翁
 賜顧請俯臨相商此
 佈
 大清光緒丙申年三
 月十五日
 檳城點石
 齋主人白

生番社離海上... 氣候與前山較異... 所自成都... 便宜通事... 然因外人... 之類以狀... 庄中聚番... 三十餘甲... 有大目... 其俗別... 番北有新... 摩古露九...

拍賣館告白... 啟者敝館開張本埠土庫街門牌第五十二號... 諸君如有貨物交敝館代為拍賣者... 諸君如有欲惠顧者... 移玉至本埠土庫街第十五號門牌內選擇交易可也... 大清光緒二十三年五月十五日

平沽限期... 啟者本公司堂開至半年... 將所積各貨平沽一次... 茲復屆期特將所存緞呢絲綢布匹并婦女常用鞋綢及一切零星物件... 減價限期現已擬定自本日起限至十日... 各紳商如蒙賜顧請於十日內移玉至本埠土庫街第十五號門牌內選擇交易可也... 大清光緒二十三年五月十五日

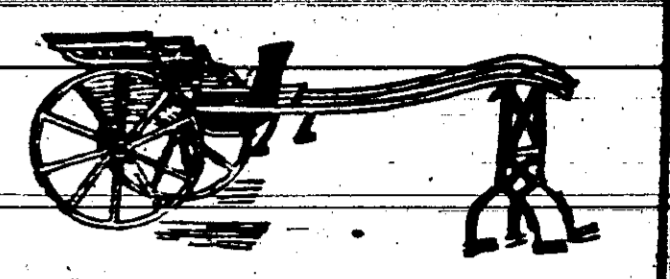
各色花磚招售... 啟者本號有採辦上等灰粉製造各色花磚出售... 諸君賜顧者請移玉到敝號選擇相商此佈... 大清光緒二十三年五月十一日

退股聲明... 啟者前我黃瑞生入股報豐年班... 因德安堂聘報豐年班到南洋演唱... 本太多我黃瑞生應將自己名下股本利息銀抵還... 年班主布杰山梁詒燕堂亦應將所欠戲金註銷永遠不追... 仍有我黃瑞生所欠關租米數上油數一概歸報豐年班主布杰山梁詒燕堂代還... 不干我黃瑞生之事... 兩家尤肯於四月廿九日算明清楚... 我黃瑞生股份合同憑據概還布杰山梁詒燕堂收回... 日後報豐年班生理盈虧與我黃瑞生無涉... 特此佈聞... 光緒二十三年五月十一日

人齊集會議... 前報載本月十五日華英協辦慶典各人員齊集大英公館... 議之事項... 但錄准各鄉社舉行迎賽之事... 茲復詳查是日各員并議撥銀三十元交過港太守辦理燈之用... 又撥五十元為西樂之用... 并議准辦慶各人員屆期均懸腰牌一面以分別其有執事者... 各一處在本埠新鐵橋地方以表慶賀... 皇周甲之期... 謝君并云... 尚所捐之款不敷... 開發書再增捐蓋欲其必成也... 工部局各員極為嘉獎... 并議定招人繪畫該樓與塔圖式... 擇其佳者分別給賞... 第一名賞銀一百五十元... 第二名賞銀五十元... 又據謝君之意... 鐘樓須高六十英尺... 即即隱萬六十年之意也... 德亞二天... 吉寧籍人馬里在過港武吉淡地地方因殺妻一案... 經臬憲及陪審員判定治以絞首之罪... 其文詳報助督憲閱督憲札飭其死罪令... 網終身想係達茲慶典特沛恩施耳... 柏臺折獄... 吉寧籍人加勝過憐前在本埠開張店號... 聘請其同籍人馮祖岩資淡司書記之職... 又與本埠按察司跟班之吉寧人實夫長相識... 前因實夫被人控告由府詳臬經按察司判定令加某將欠人賬簿繳署存案... 後加某與馮祖岩謀托臬署跟班實某將賬簿交出... 希圖更改... 被臬署看門之人察悉... 報明臬憲... 將三人拿送府署... 府憲訊明原委... 送府按察司衙門聽候判決... 月之十五日按察司訊定判每名各監禁兩年... 太守折獄... 閩人陳某住本埠... 田仔地方與其同籍人馬某為鄰... 關於五月廿一號陳某招友多名在家中聚賭... 被巡捕查悉... 奮門人捉獲... 人計十名... 左右尚有數名越牆而出... 從馬某瓦上逃走... 踏破屋瓦不計其數... 馬某修理去銀八元五角... 五占馬某及賭案結之後... 隨向陳某索償... 修理屋瓦... 項陳不肯與馬某控之於案... 月之十六日府憲提訊... 據被告云... 逃走之人... 被巡捕追逐... 予迫其走也... 與我何干... 太守三衛不聚賭... 恐差何能往拿... 自無逃走... 瓦之事... 爾當照價修理... 項下并令繳衙費銀一元七角五分... 時疫流行... 上海某報言今歲福州城復有核疫流行... 比諸上年傳染更廣... 上年因疫去世者估計約二三萬人... 今歲恐不下四萬人... 聞疫症初起亦係鼠子首遭其毒... 故名鼠疫... 銀行開辦... 中國皇家銀行總局設於上海... 經於四月廿六日開辦... 本日並未未有銀兩交易... 祇有佳客臨門... 殷殷道賀... 司事西人美蘭出而接見... 主賓款洽... 極形慶鬧... 而已... 聞交易滙兌之期... 須俟五月十三日以後... 方有銀兩出入云... 劃界要言... 浙省開辦通商劃定租界與日領事往返... 籌商頗費唇舌... 自去歲至今... 屢有齟齬... 始則大憲以租界中一切政權... 須歸中國官管... 轄日人堅不依允... 各大憲只得隱忍... 從事日領事因劃界之時... 言明有東至連河一語... 則連河一切政事及往來人民亦須均歸日官管理... 經洋務委員再三緩頰... 不激不隨... 伸以大義始復與訂明... 以後作公共之地... 諸事均照上海辦法... 歸會公廳辦理... 日人始允於以見... 杭省官場開辦此事... 殊非易矣... 礦學新法... 知新報譯西三月紐約格致報云... 英國益顯不地方有一書院... 教習名尊成者... 澳大利亞人也... 窮得新法... 謂石礦內有金山... 彼能察看山石含有金否... 並不能決其有無者... 彼能立決之... 當對地學家言... 前數年曾考得鹽石有金質... 並有鐵質云... 章軍操演... 某船主到日國遊覽... 攪得采風飽挹山川秀色... 乘興而往... 從步內地欲增眼界... 行至某城郊原之境... 遙見童軍數百在比武... 操演... 觀之大... 有髮眉中... 帽... 羅... 選其中女子知兵... 誠古今不可多觀... 觀其各持軍械... 整飾步伐... 儼成德國陸軍軍容... 據西報言... 即此可見日人好勇... 少小... 習武... 熟... 將來技藝... 素... 不少... 願... 自... 雄... 之... 概... 未... 始... 非... 強... 國... 之一... 事... 也... 續奇案探險譯文... 道路... 自宜... 蘭... 至... 奇... 萊... 一... 帶... 道... 路... 同... 治... 十... 三... 年... 羅... 大... 存... 鑿... 也... 勒... 有... 碑... 記... 沿... 路... 立... 石... 誌... 里... 程... 過... 此... 者... 可... 一... 望... 而... 知... 自... 蘇... 澳... 至... 東... 澳... 二十里... 東... 澳... 至... 大... 南... 澳... 三十里... 大... 南... 澳... 至... 大... 南... 澳... 水... 至... 大... 清... 水... 一... 十... 五... 里... 大... 清... 水... 至... 新... 城... 四... 十... 五... 里... 新... 城... 至... 花... 蓮... 北... 岸... 五... 十... 里... 統... 計... 二... 百... 里... 間... 皆... 為...

報稱昨夕... 國家將亡... 插譯憲示... 議作頌文... 慶典餘談... 建物誌慶... 德亞二天... 柏臺折獄... 前因實夫... 太守折獄... 人計十名... 項陳不肯... 瓦之事... 時疫流行... 係鼠子首... 銀行開辦... 劃界要言... 礦學新法... 章軍操演... 觀之大... 將來技藝... 續奇案探險譯文... 道路... 自宜... 蘭... 至... 奇... 萊... 一... 帶... 道... 路... 同... 治... 十... 三... 年... 羅... 大... 存... 鑿... 也... 勒... 有... 碑... 記... 沿... 路... 立... 石... 誌... 里... 程... 過... 此... 者... 可... 一... 望... 而... 知... 自... 蘇... 澳... 至... 東... 澳... 二十里... 東... 澳... 至... 大... 南... 澳... 三十里... 大... 南... 澳... 至... 大... 南... 澳... 水... 至... 大... 清... 水... 一... 十... 五... 里... 大... 清... 水... 至... 新... 城... 四... 十... 五... 里... 新... 城... 至... 花... 蓮... 北... 岸... 五... 十... 里... 統... 計... 二... 百... 里... 間... 皆... 為...

順陽號馬車店



啓者本號自英一千八百七十六年開張迄今二十餘年精造各款馬車發兌並代為修理概用頂上柴料漆料油料鐵器車有用好鐵織造其用輕而耐久其價較別廉宜所以遠近馳名銷路甚廣倘蒙諸君賜顧請移玉至吊橋頭第三百二十號門牌相商此佈
乙未年六月十八日
本號主人張如明啟

清涼水出售

啓者本廠由英京採到頂上機器延請英人名手精製 南文力 羌水 苦水 漱打及各色水均有製便氣味清香 諸君賜顧祈請嘗試便知言之不謬也此佈 茲將代理人列左
左港仔口興利號 土庫街成振號 土庫街廣福安號大罐水每打八角 勞七角其餘各色水大罐每打八角 乙未年六月十八日亞枝莫堅禮里白

王帽標麵粉



啓者美國王帽標麵粉公司所造麵粉其色澤鮮潤氣力精厚若製成麵包比別家格外增多曾經遠近馳名茲由本公司代理人在檳發兌倘蒙 諸商翁賜顧者請到土庫街本公司相商價其廉宜此佈
英一千八百九十六年亦不里廿一號
檳城代理人先得得里公司啟

和順小公銀行告白

啓者本銀行自西一千八百二十四年在和國開設計于今垂七十餘載矣當開創之始實係老資本三十一項 啓者本藥房專代理禮達力示君眼鏡 諸君賜顧者請到土庫街本井里汶 知牙 必佳 吧沙老安 知叻 暹 及各埠等處所有支行均有代理人其總辦代理之 藥房詢問便是此佈
大清光緒丙申年八月廿四日
招 大英一千八百九十六年十月八號
WILLIAMS & CO.

牙科妙手



啓者僕於牙科一道考究十有餘年不獨牙痛能醫牙腐能脫牙能補牙能鑲牙之法用頂上樹乳金銀藥粉堅固不搖與真牙一色無論食物洗刷均無痛楚不便等情取價甚廉 諸君惠顧者請移玉到舊大門樓第二百零八號門牌樓上便是倘若閣下不便貴臨僕當造府就教此佈
鑲牙科醫生張麗棠啟

保險廣告

啓者本公司代理英國保險公司資本銀三百萬金磅專保屋宇棧房貨物家私等件無火燭之虞倘遇不測賠償迅速 諸君賜顧請至土庫街三十五號門牌本號面議保費極廉特此佈聞
乙未年六月十八日
代理人叶晒公司謹啟

代理保險廣告

啓者茲將本號代理保險公司列明於後 悅來洋面保險有限公司 英國魯悅保險有限公司 美國明烟運佳錫火燭保險有限公司 美國保險有限公司 中外衆國保險有限公司 廣東保險有限公司 諸君惠顧者請到土庫街本號面商價甚相宜此佈
乙未年八月十三日
代理人莫實得公司謹啟

荷蘭而委實杞酒發兌

SPECIAL RESERVE SANDILANDS, BUTTERY & CO.
啓者本公司由歐洲辦到頂上委實杞酒久已遠近馳名 諸君凡經採沽者莫不交口稱揚其香蓋此酒係選擇精料名手製成氣味甘美清香大異常品飲之不徒消渴生津潤顏暢氣且能調陰陽補元氣除百病諸邪邪經多年並非虛語倘蒙 諸商惠顧請到土庫街門牌第二十七號本公司面商此佈
乙未年六月十八日
仙得登峇得里公司謹啟

西醫藥房

啓者本藥房在土庫街豐美號石隣第三十七號門牌自製各項藥料及採到歐洲靈驗丸散丹膏出售 發熱藥水 風濕藥水 退熱藥油 耳痛藥 生髮油 筋骨痛藥水 牙痛藥 以上各藥經驗活人者衆 井男婦老幼悉人所共知 俱備 抽射門水筒 驗聽五臟機器 驗病照鏡筒 寒暑針 小腸氣藥帶 本藥房製之大其稱藥油均由其人查驗方給出門本醫生每日自上午十點至十二點下午二點至五點為診病之時 過時不候此佈
乙未年六月十八日 遮實東藥房謹啟

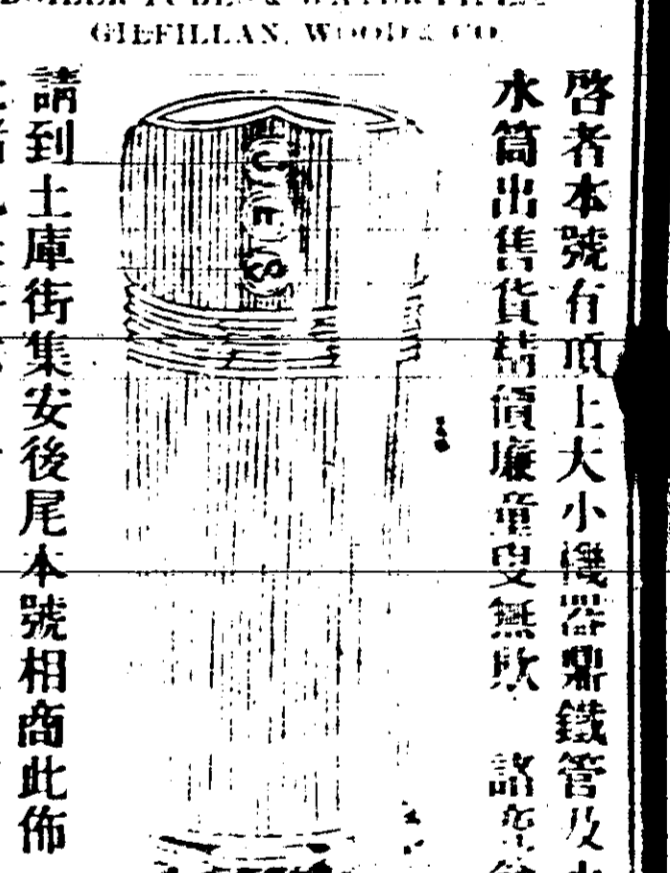
蜜實直西藥房

啓者敝舖所延西醫 經在英京攻取一等 得虛扁真傳活人無 算數講辦泰西上品 諸藥無不藥到回春 倘蒙不棄有遇沉痾 祈請移玉到土庫街 萬裕興對面門牌第 五十二號便是藥價 公平特此佈聞
乙未年六月十八日
蜜實直西藥房啟

檳榔嶼

啓者本號代 賣藥各貨 所費甚廉 諸君如有貨 物要售請到 港仔口孟記 號對面五十 六號門牌相 商此佈乙未 六月十八日
本館主人許 永興理事人 勿耶全謹啟

鐵管放水筒



啓者本號有頂上大小機器鐵管及水筒放水筒出售貨真價實童叟無欺 諸君欲沽者請到土庫街集安後尾本號相商此佈
光緒乙未年六月十八日牙比華律公司謹白

保安廣告

啓者本號代理德國保安公司資本銀六百萬日專保屋宇家利棧房貨物無火燭之虞倘有失慎賠償快捷 諸君光顧請移玉到土庫街第廿三號門牌集安號樓上 面商價甚相宜此佈
光緒乙未年六月十八日
代理人習挽藍也公司白

代理芳名

仰光瑞發號林維福先生 怡里瑞安號周恭英先生 小吡叻本益號林錦昌先生 新嘉坡叻報館薛有禮先生 甲板美隆號楊本坎先生 通和廣興號林仁禮先生 巴羅德振公司甘德善先生 吉隆裕隆號陸秋傑先生 哈哈水泰生號胡子春先生

白鹽招賣

啓者本公司自辦亞南安南及包正古等處白鹽 射利致魚目混珠之請特設鹽棧在井水港橋邊以便駁船牛車上落所費甚廉 諸君賜顧請到街門牌一百五十五號福南號門牌一百六十一號榮豐號及蝦羅申街門牌二百三十一號承珍南號相商或外埠要採買可以賜函均能代寄無差決不食言特此佈聞
大清光緒乙未年瓜秋初一日 萃陶公司謹白

機器雜貨出售

啓者本號由歐洲各國自辦各貨列明於下
頂上二寸至八寸駱駝毛火車帶 二寸至八寸帆布帶 火車樹乳帶 樹乳布 樹乳紙 皮帶銅釘 皮帶鐵釘 大小帆布水筒 放水筒 探水鏡筒 並火船火車所用各器均有備便 另有頂上雪文藥 製造南文力水藥料 火水 勿突撞 鐵線 白灰 桶油 各款各色漆並油更雜貨甚多 賜顧者請到義興街廿八號門牌敝舖相商此佈
光緒乙未年六月十八日 吳德志謹啟

大清光緒廿三年三月十八日 招售人謹啟

檳城新報

本館開設在街第百二十三號門牌禮拜六印

Printed and Published by Lim Seng Hin at the "Criterion Press," Nos. 230 & 237, Beach Street, Penang.

春曾以四十二兆人勝三百兆人之國觀此則日本誠何患人敵之不多哉至日人之所以能勝中國者以中國官場凡事皆極冗濫故能一鼓作氣所向無前今觀俄人亦不無此弊雖森彼得羅堡即至弊資叢生以致黑龍江鐵路工程迄今尚不能竣事一日俄兵船與他國開戰竊恐因貪心之故諸多舛誤以致不能取勝於汪洋巨浸之中回憶中日未交戰之數年前日人已深知中國兵船之窳敗者俄人在東方之強弱日人亦能了然於胸中俄人亦以此法施之分派多人稽察日廷近政有人默觀時事謂三年之後俄日必將兵端因日本設法增兵遲至三年其強可較日十倍之且三倍之日前日本因高麗之故與俄人議立和約旁人揣測咸謂此約深不足恃日後必致寒盟即中日交爭亦未始不由寒盟而起竊以為日本所以不能稱強者由於庫款之匱乏中國既已費銀三萬三千萬兩而仍不免左支右絀此大難籌議增兵而兵費恐無從籌出計臣欲向歐洲稱貸乃改而以金為質俾稱貸不致為難然中國工務及出口貨必致因用金而反為不便欲更厚款又恐民怨沸騰久之所徵少而所用多漸成外強中乾之勢不知以後能因府庫之空而免與俄人啓釁否惟是日人素性好義往往萬眾一心如能不要府庫之空而一力遏阻俄人不致使日本為鄰則日人之幸也

英美定約 ○十七日日本埠西報述十六日英京勞打電音稱委內瑞辣界址之事辰下英美兩國業經參酌妥善并在美國華新田地方將所劃界限立定約章彼此畫押互執為據

夏威島要聞 ○十八日日本埠西報述十七日英京勞打電音稱美國現與夏威島國家立定條約以夏威島為美國之附庸美廷先將此事勅國中議院各大臣參議妥議然後舉行○又電云日廷聞美國與夏威島立約一節其辦事不其公允

快電申謝 ○前報所載英皇勅廷臣在先補大禮拜堂預製謝電一節茲據英京消息云該電業經製妥其法首製總線一根又續支線數根分透各國專使英皇屆期幸該堂行禮之後英皇親自按電向各國稱謝其電音可以同時并到但需分半鐘之久誠妙製也

印度慶典 ○印度統帥業奉英皇旨准將該屬各監罪人分別赦宥以示恩施又該處地方官令所屬各炮臺屆英皇御極周年之期均放大炮六十响以伸慶禮

不便往慶 ○西報述希臘消息云希臘國王當未與土耳其交戰之時擬派諸君前往英京恭賀英皇登極六十年之喜既敗之後和議未定且離英皇壽辰尚遠希王故未議及茲因壽期迫近希王備詢廷臣命太子往賀如何各臣奏曰我師新敗何顏與各國使臣相見一不便也太子有統兵之權若命前往則軍符者何人管握二不便也百姓何知反謂君王行此不急之務更與國家為難三不便也希王俯納其言遂罷往慶之議雖然滿座飲酒一人向隅希王將何以為情哉

暹王遊程 ○西報載暹王遊幸處所頗覺詳細特為照譯以供眾覽據云西歷六月二號即華五月初三日暹王至意大利之杜陵城地方而意王預派大臣兩員一名阿實打皆係公爵在該處伺候及暹王駕蒞該處臣迎迓如禮六月四號暹王同兩爵臣前往意京意王亦迎迓如禮并行宴享兩君極形款洽宴畢暹王回駐客宮六月五號暹王往羅馬羅馬教王六月七號暹王命駕往拿運實遊歷當變轎將行之時意王率其太子同往車前送別談叙良久各自分途然而彼此均有戀戀不舍之意云

寄存外府 ○各國王子皆有私積而不敢貯於本國多寄藏於英國委因何故無得而知茲因其事頗奇錄登報端以資談助茲據西報載稱故法王子太子私蓄頗多特將罕用珍寶并餘剩金銀約值英金六十萬磅寄藏英國且土國太子亦將私囊寄藏該國亦異矣

土油渣代煤 ○天下之物無非點滴歸於無用特未知其性雖空山太璞而任其湮沒且覺瓦礫之不如試即土油而論昔人皆取其油而棄其渣以為渣固無所用耳而不知其力與土油比較得六分之一焉荷蘭人知之欲以代煤供輪船之用另製一種爐灶試燃該渣於其中驗其火力與煤炭相去不遠而核其經費且省一半嗣經該公司主人將載運土油之舊火船名那猛狄改製燒土油渣之爐灶一具又製兩艘新船一名高榜一名蘭其船內所配亦係燒土油渣之爐灶前日該船駛來本埠船政司招該公司派駐本埠之理事人名峇臺引往那猛狄船上閱其爐灶式樣并登高榜火船察其試驗其氣力功用果與煤炭無異船政司噴噴稱羨又聞該公司擬運是物來此暢銷欲在本埠開辦角海墘擇地建棧為屯積土油渣之所未悉三州府國家准行與否夫論屯積土油之所例難附近民居以昭慎重今該公司因其力不及土油之猛故擬屯該處但該渣之力雖稍遜於土油而既為引火之物理合防其微而杜其漸想三州府國家定有所處之也

雷切維德 ○吉寧街大某甲在印及岩的勝實地方充英公館儲役西歷六月二號之夕風雨雷電甚厲其時某甲在房中睡熟忽覺屋瓦墜下幸未受傷

墨紙招售 ○本處親向英京精選頂上各色墨水藥墨并厚薄五色紙業經寄到評定價目隨時發兌本埠暨外州府 紳商如欲購買或一俯臨面商或寄信前來敝齋定當從廉售賣特此佈 聞

大清光緒二十三年五月初日 點石齋主人謹啓

停報聲明 ○西歷六月廿一號廿二號即華五月廿二廿三等日係英女皇即位周年之期本埠各官廳洋行均於兩日停止辦公以伸慶祝本館寄居居屬域理合照例停報兩天以示中外一體俟本月廿四日起再行出報按日送 閱

特此佈 聞諸希 亮照

大清光緒二十三年五月二十日 本館謹啓

閱報聲明 ○啓者本館新開紙貨價銀期兩張自丙申年六月十一日起除禮拜外每日出報每份售錢十文全年者銀十元六個月者銀六元閱附張者全年銀五元六個月者銀三元外埠全年者銀七元零沽每份售錢十二文

白者第一日每字一占第二日每字半占字多及長列者另議再本館所登來札原擇其有益世道人心者亦須無礙於人並寫真里而後始錄諸君來札當為見諒至來稿登與不登均不能將原稿收回此佈 本館主人白

墨紙招售 ○本處親向英京精選頂上各色墨水藥墨并厚薄五色紙業經寄到評定價目隨時發兌本埠暨外州府 紳商如欲購買或一俯臨面商或寄信前來敝齋定當從廉售賣特此佈 聞

大清光緒二十三年五月初日 點石齋主人謹啓

停報聲明 ○西歷六月廿一號廿二號即華五月廿二廿三等日係英女皇即位周年之期本埠各官廳洋行均於兩日停止辦公以伸慶祝本館寄居居屬域理合照例停報兩天以示中外一體俟本月廿四日起再行出報按日送 閱

特此佈 聞諸希 亮照

大清光緒二十三年五月二十日 本館謹啓

論租界二字中西解釋不同

通商以來西人以索開口岸為始則廣州福州廈門寧波上海五口通商繼則鎮江蘇州九江漢口宜昌重慶長江各口以及天津溫州牛莊蘇州潮州瓊州梧州次第開埠甲午之役與日本立約特開蘇州杭州四處口岸各國援一體均沾之約先後踵至蘇州則劃青陽地一帶為租界杭州則劃拱宸橋一帶為通商場他務未遑設關為先均以道員兼監督而以洋人為稅務司其餘布置莫不井井有條至其租界辦法則杭州似優于蘇州蓋蘇州租界一切照上海歸西人管理杭州租界一切照寧波由華官主政故也租界名目起於各國通商之後前此未嘗有也但既曰租界則轄地之權仍在中國原非香港之贈于英吉利臺灣之割于日本可比乃租界中治民之權西官為政華官不得與聞有時出示曉諭中國商民之事與西人毫不相干者亦必將告示送諸領事官簽字加印否則巡捕得而擲之矣會審委員上海縣出票提人亦必由西官簽字否則持票差役轉被巡捕拘拿而治以越界拘人之罪矣設遇要犯事關重大展轉簽字之間或設聞風遠颺竟至無可歸咎事之掣肘孰過於此然西官據租界章程為辭不得而屈之也夫租界章程儼同兩國條約尊逾大清律例似應由華官將租界章程及一切違罰條款抄錄一通大書特書使人一望而知庶易趨避日後或訂新章亦當隨時曉示不得以他國疆土論而禁令之嚴可為寒心揭章程而出之保全實多安得曰民可使由不可使知哉竊見租界內之稅屋而居者房東於按月收租之外房客偶有舉動如轉租拆卸裝修等事須由房東允許此何理也由是觀之西人之於租界使中國竟永絕治理之權轉不若房東之得自主甯不可哀哀哀諸公尚以天朝自矜自貴曾不知人之待我

論租界二字中西解釋不同

替人額數 美籌製履

劫物害命 自行止門 英屬要電

俄使抵京 風災再見 水底魚雷

新官將蒞 製藥焚身 葬身鱷腹

摩挲老眼 新客出山 太守判釋

委員行踪 各行告白